

事業報告書

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

(1) 事業年度の末日における重要な活動の内容

主要な取扱事業種目等

事業種目	主要な事業品目等
医療事業	病院(臨床研修指定病院 一般病床 医療療養病床) 診療所(内科・歯科) 訪問看護 健康診査
福祉事業	介護医療院 訪問介護 訪問看護 訪問リハビリテーション 通所リハビリテーション 通所介護 短期入所療養介護 居宅療養管理指導 福祉タクシー 居宅介護支援 介護タクシー 住宅型有料老人ホーム・高齢者優良賃貸住宅 サービス付き高齢者向け住宅 受託事業(松江市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業)
医療福祉等附帯事業	院内売店 患者用駐車場

(2) 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

★松江保健生協の 2021 年度決算の概要

松江保健生協の 2021 年度の経営は、コロナ禍 2 年目のなか経常剰余金は 2 億 8,488 万円となり、予算 1 億 3,824 万円に対して 1 億 4,664 万円超過達成することができました。

事業収益は 85 億 501 万円で予算 95.5%、4 億 86 万円の未達成。事業費用は 87 億 597 万円で予算 98.7%、1 億 1,443 万円減となり、収益が大きく予算を下回りました。

事業剰余金は△2 億 95 万円となりましたが、補助金収入が 4 億 6,519 万円（うち新型コロナ関連補助金 4 億 3,338 万円）あり、経常剰余金で 2 億 8,488 万円、税引き後の当期剰余金で 1 億 9,145 万円となりました。当期末処分剰余金は▲6,087 万円の到達となりました。

2021 年度は新型コロナ感染拡大が第 4 波から第 6 波まで続き、感染者数も過去最高を記録しました。このような中で生協病院では発熱外来実施や 9 月から陽性患者の入院受け入れ、ふれあい診療所をはじめ各事業所でのワクチン接種実施など地域要求や行政の要請にこたえてきました。

一方で、法人全体の外来収益は前年比 96.7%、6,400 万円減収、介護通所で前年比 90.9%、3,550 万円減収など外来部門と介護通所部門で収益の回復が困難な状況が続いています。

事業所グループ別では、松江生協病院グループ、学園福祉センターの 2 事業所グループが経常剰余予算達成となりましたが、介護医療院虹グループ、東出雲診療所グループ、歯科クリニック、幸町福祉センターの 4 事業所グループは赤字決算となりました。

生協病院グループは、入院（計画▲12 床、空床確保含めると＋1 床）、外来（生協・ふれあい計画▲2 人）、健診（年間計画▲49 人）で計画を下回り、事業収益は予算比 95.9%、前年比 100.1%となりました。事業費用は予算内（98.7%）で推移し、新型コロナ補助金を含め 3 億 2,439 万円の黒字となりました。

虹グループは、訪問系事業（計画＋1.5 人）、居宅支援事業（月計画＋23 人）で計画達成となりましたが、入所（計画▲3 人）、通所系事業（計画▲9 人）で計画未達成となり、事業収益は予算比 96.7%、前年比 97%となりました。費用は予算超過（100.3%）となり、▲588 万円の赤字決算となりました。

学園福祉センターグループは、事業収益が予算 102.8%、前年 105.7%と増収、費用も予算超過（101.9%）でしたが、収益増加が上回り予算超過の 420 万円の黒字決算となりました。

歯科クリニックは、事業収益予算比 77.4%、前年比 104.2%となり▲1,368 万円の赤字、東出雲診療所グループは、事業収益予算比 84.2%、前年比 84.4%となり▲1,372 万円の赤字、幸町福祉センターは、事業収益予算比 78.2%、前年比 89.3%となり、▲1,451 万円の赤字決算となるなど、小規模での患者、利用者減、収益減少により、1,000 万円を超える大きな赤字決算となりました。

【各事業所グループの経営概況】

	事業収益	予算比	前年比	経常剰余
生協病院グループ	69 億 3,987 万円	95.9%	100.1%	3 億 2,817 万円
介護医療院虹グループ	11 億 6,991 万円	96.7%	97.0%	▲582 万円
東出雲診療所グループ	9,242 万円	84.2%	84.4%	▲1,342 万円
歯科クリニック	1 億 1,675 万円	77.4%	104.2%	▲1,372 万円
学園福祉センター	1 億 2,779 万円	102.8%	105.7%	420 万円
幸町福祉センター	5,988 万円	78.2%	89.3%	▲1,451 万円
合 計	85 億 0,501 万円	95.5%	99.5%	2 億 8,488 万円

*各事業所の事業収益には、グループ間の取引を含んでいます。本部を除く

★事業収益 85 億 501 万円（予算比 95.5%／前年比 99.5%） 前年、予算とも未達成

事業収益は入院の空床確保による稼働減少と外来部門、介護通所部門の患者、利用減少により予算比 95.5%、予算▲4 億 86 万円、前年比 99.5%、▲4,190 万円となりました。

医業事業収益は予算比 95.6%、前年比 100.1%、前年から 691 万円増収となりました。

入院医療収益は、予算比 95.7%、前年比 100.2%、前年からは 1,125 万円増収となりました。

外来医療収益は予算比 93.3%、前年比 96.7%、前年から▲6,408 万円。健診収益は予算比 94.4%、前年比 103.7%、前年から 954 万円の増収。ワクチン接種を中心に、その他の医療収益は前年から 4,491 万円の収益増加となりました。

福祉事業収益は予算比 95.0%、前年比 97.0%。居宅支援事業が唯一予算、前年とも収益で上回りました。それ以外の部門では予算、前年とも収益が減少しています。特に通所系では前年から▲3,551 万円と大きく減収しています。

★患者・利用者数 前年からは入院・入所、外来以外で増加、計画からは訪問看護・リハ、居宅介護支援を除き未達成

前年からは患者、利用者を増やした部門、事業所はあるものの、職員、患者、利用者への新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの事業所で計画を下回りました。

生協病院入院は、病床稼働計画（332 床）に対して 12 床未達成（320 床）。介護医療院虹は、病床稼働計画（175 床）に対して 3 床未達成（172 床）となりました。

外来患者数は、ふれあい診療所とのぞみ訪問看護（医療）が計画を達成できました。透析は計画▲2 人、ふれあい診療所＋1 人、生協病院救急外来▲1、東出雲診療所▲1.3 人、歯科クリニック▲19.3 人、のぞみ訪問看護（医療）＋0.4 人、クリニック虹▲0.1 人となりました。

居宅介護事業所利用者数は計画に対し、通所リハ▲5.3 人、デイサービスで▲15.4 人、ヘルパー▲4 人、訪問看護・リハ計画達成、ケアプラン作成数月＋398 件となりました。

【一日あたり患者・利用者数】

	入院（入所）	外来	通所	ヘルパー	訪問看護/リハ	健診	高齢者住宅
	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比	人/前年比
生協病院グループ	320/ 98%	405/101%	22/ 92%	28/105%	21/104%	50/104%	* *
虹グループ	172/ 99%	6/ 97%	59/ 91%	28/ 93%	10/105%	* *	53/ 95%
東出雲診グループ	* *	16/ 93%	14/ 89%	* *	* *	1/ 79%	* *
歯科クリニック	* *	54/103%	* *	* *	* *	2/155%	* *
学園福祉センター	* *	* *	24/104%	30/103%	* *	* *	* *
幸町福祉センター	* *	* *	18/ 91%	* *	* *	* *	* *
合 計	492/ 98%	483/101%	137/ 93%	86/100%	30/103%	53/104%	53/ 95%

＊訪問看護の医療保険利用者 13 人/日は外来に含む。ケアプランは月平均 670 件

1 日患者・利用者数は各事業所の利用日に基づく。小数点以下は四捨五入

★事業費用 87 億 597 万円（予算比 98.7%/前年比 102.7%）

事業収益が予算比 95.5%（前年比 99.5%）となる中、事業費用も予算比 98.7%（前年比 102.7%）となり、予算から 1 億 1,443 万円減少となりました。

新型コロナウイルス感染対策にともない、ワクチン接種費用、診療材料、衛生材料、委託費などの費用は予算を超過しましたが、患者、利用者の減少、ふれあい診療所院外処方段階的移行や費用削減努力などにより、薬品費（予算比 87.3%、前年比 89.4%）、減価償却費（予算比 91.8%、前年比 100.4%）は予算に対して減少しました。人件費は 54 億 5,986 万円となり前年（前年比 103.5%）からは増加しましたが、予算（予算比 99.1%）内となりました。

しかし、人件費＋医療福祉材料費＋委託費の合計は、収益減少の影響が大きく収益比 89.2%と前年比で 2.6%の増加となっています。

★コロナ禍でも「断らない」医療介護と地域の要求に応え経営改善がすすみました。

2021 年度決算は、経常剰余金 2 億 8,488 万円、当期剰余金 1 億 9,145 万円の黒字決算となり、2020 年度に続き剰余目標を達成することが出来ました。

新型コロナ補助金のうち、空床確保等の収入補填（3 億 5,116 万円）とワクチン接種を含む感染対策費用補填（8,221 万円）については、事業外収益の補助金収入としました。

出資金は 2 億 3 千万円目標に対し、2 億 568 万円が寄せられ、純増額は 2,932 万円となり、出資金総額は 16 億 5,833 万円となりました。

2022 年度は引き続きコロナ禍での事業活動のスタートとなりました。感染対策を実施しながら地域から求められる医療、介護事業をすすめます。また、不確定な補助金収益を前提とせず、各事業所グループの患者・利用者計画の達成を軸に、「必要剰余」を確保し、累積剰余で黒字転換の年度としていきます。

2022 年度の「必要剰余」は出資金純増を除き、1 億 6,079 万円とします。